

記入年月日
令和 5 年 4 月 1 日

事務事業名		体力・運動能力調査事業						事業区分		担当	
政策体系上の位置付け								新規/継続	継続	事務事業No.	020401000969
								単独/補助	単独	所属課	090501
政策体系	総合計画の施策名	0204	生涯スポーツ活動の振興						課長名		スポーツ振興課
	政策名	02	生きがいを育む学びのまちづくり								
	施策名	04	生涯スポーツ活動の振興						グループ	スポーツ振興G	
	手段名	01	①スポーツをする機会の充実						担当者名		
財務会計上の位置付け								事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	単年度繰返し（昭和39年度～）			
	01	10	06	01	02	00	保健体育総務事業	➡ 期間限定の場合、総投入量を（3）投入量の右側に記入			
法令根拠											

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その1）

手 段	(1) 事務事業の概要	
	①事務事業の概要（事務事業の全体像）	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	1.調査の目的 体力・運動能力調査を実施することにより、国民の体力・運動能力の現状を明らかにするとともに体育・スポーツの指導と行政上の基礎資料とする。 2.調査市町村 各市町村が2年に一度実施する。 3.調査人数 成年 20歳～64歳、5歳ずつの年齢区分で男女各3名（54名） 高齢者65歳～79歳、5歳ずつの年齢区分で男女各1～2名（6～12名） 4.調査期間 5月～10月	広報掲載・調査員依頼（スポーツ推進委員）・参加者募集・体力運動能力調査・集計・県への報告

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 （担当者の活動内容）	④活動指標 （活動量を表す指標）	単位	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度
			（実績）	（実績）	（計画）	（目標）	（目標）
・広報掲載 ・調査員依頼（スポーツ推進委員） ・参加者募集 ・体力運動能力調査・集計 ・県への報告	実施回数	回	1.00	0.00	1.00	0.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 （誰、何を対象にしているのか）	⑤対象指標 （対象の大きさを表す指標）	単位	03年度 （実績）	04年度 （実績）	05年度 （計画）	06年度 （目標）	07年度 （目標）
桜川市民数（20歳～79歳）	調査人数	人	60.00	0.00	60.00	0.00	60.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 （この事業によって対象をどう変えるのか）	⑥成果指標 （対象における意図の達成度を表す指標）	単位	03年度 （実績）	04年度 （実績）	05年度 （計画）	06年度 （目標）	07年度 （目標）
参加者が現在の体力年齢を把握することにより、今後の健康づくりのきっかけとする。	参加者数	人	109.00	0.00	110.00	0.00	110.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量（事業費）の推移				03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	期間限定 総投入量
				(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		
			県支出金	千円	0	0	0		
			地方債	千円	0	0	0		
			使用料・手数料	千円	0	0	0		
			その他	千円	0	0	0		
			一般財源	千円	33	0	33		
			事業費計（A）	千円	33	0	33		
	量	正規職員従事人数	人	8.00人	0.00人	8.00人			

事業費の内訳	04年度事業費 実績 (千円)			05年度事業費 予算 (千円)		
			合 計	0		合 計

(4) 当該年度の実施内容
※年度ごとに事業内容を記入する

05年度の事業内容

06年度の事業内容

07年度の事業内容

事務事業名	体力・運動能力調査事業	事務事業No.	20401000969	所属課	スポーツ振興課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 国民の体力・運動能力の現状を把握するため、昭和39年度から文部科学省が調査を実施しており、2年に一度調査を行う。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 参加者からは、自分の体力年齢が把握できるので、非常に有意義な事業であるとの意見がある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） ☒ 結びついている ・各自の体力年齢を把握することにより、その後の健康づくりのきっかけとなっているので結びついている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） ☒ 妥当である ・文部科学省からの調査依頼のため、妥当である。
有 効 性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） ☒ 向上余地がない ・年齢が限定され、調査方法も決められている。さらに広報やお知らせ等において周知しているので、向上余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） ☒ 影響有 ・文部科学省からの調査依頼のため、事業の廃止はできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性がありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 ☒ 余地がない ・特に類似する事業がない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） ☒ 削減余地がない ・調査当日は市スポーツ推進委員に依頼しているため、削減は難しい。
効 率 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） ☒ 公正・公平である ・広報やお知らせ等において周知しているので、公平・公正である。
公 平 性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																		
①目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	⇒	・2年毎に行う事業であり、30年度は調査を行う年であった。総勢85名の参加があった。各自、自分の体力年齢を確認する良い機会になったと思われる。																		
②有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																				
③効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																				
④公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																		
☐ 終了 ☒ 継続 ☐ 改革改善を行う → ☐ 廃止 ☐ 休止 ☒ 現状維持		（複数回答可） ☐ 目的の再設定 ☐ 効率性の改善 ☐ 有効性の改善 ☐ 公平性の改善 ☐ 統廃合ができる ☐ 連携ができる																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成 果	向上維持		○		低下			
		コスト																		
		削減	維持	増加																
成 果	向上維持		○																	
	低下																			
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑤																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）	
課長確認後の評価 ☒ A A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出		確認欄 ☐	